



岩松小学校だより



学校だより 第9号

令和8年5月29日発行

発行者 校長 真子靖弘

教職員も日々勉強中～研究主任の算数科提案授業～

私たち教職員は、理論と実践を何度も行き来させながら、日々、**授業のあり方を学び続けています**。今年度は「主体的に学びを『発明』し、未来を拓く児童の育成～確かな『読解力』を基盤とし、『自己調整学習』の推進を通して～」という研究主題を掲げ、全校で実践的な研究に取り組んでいます。

5/20日(水)、その第一歩として**今村研究主任が6年松組**で算数科の提案授業を行い、全職員で参観・協議を行いました。今回の授業では、子どもたちが自ら学びをコントロールする「自己調整学習」に迫るため、以下の3つの手立てを講じました。

- ・「問い」を見出し、自分事として学びに向かう手立て
- ・学びのスタイルを自ら選択・調整しながら、問題解決に取り組む手立て
- ・次時とのつながりをもたせ、学びを広げていく手立て

当日は、これまでの学習と結びつけながら子どもの**好奇心を引き出し、自ら「問い」を創り出す姿**が見られました。また、子どもたちが「自分はどの手段で学ぶか」を**自ら選択して課題に向き合うなど、頼もしい姿**が随所に光っていました。

本校の研究が独りよがりなものにならないよう、**長崎国際大学の浦郷淳先生**に指導助言者として伴走していただいています。浦郷先生からは、「どこで子どもが困って立ち止まると想定していたのか?」「立ち止まった時に、どのような乗り越え方を身に付けさせたのか?」という、授業の本質を突く鋭いご指摘も頂戴いたしました。

この学びを全職員で共有し、今後も一人ひとりの教員が提案授業を重ねながら、子どもたちの未来を拓く「よりよい授業づくり」に邁進してまいります。

図書委員さんの素敵な読み聞かせ活動

5/20日(水)・27日(水)、**図書委員**による全校児童への**読み聞かせ**が行われました。選書から、読み聞かせ、本の展示と、**心のこもった活動**が光っています。

おととと！新聞紙の上でじゃんけん大会

5/25日(月)・27日(水)・29日(金)の3日間、昼休みの体育館にて、**健康委員会**主の「**新聞紙ジャンケン大会**」が開かれました。



ルールは、広げた新聞紙の上に一人ひとり立ち、ステージ上の健康委員さんと同じじゃんけんをして、負けたら新聞紙を半分に折っていくというもの。回を重ねるごとに足場が小さくなり、最後まで上手にバランスをとって新聞紙の上に立っていた子が勝ちとなります。ステージとフロアが一体となり、体育館は大盛り上がりとなりました。

今年度の健康委員会は、「**昨年度以上に、楽しみながらみんなの運動能力を向上させよう!**」という素敵な目標を掲げており、今回はその**第一弾**としての開催でした。遊びの中で自然と体幹やバランス感覚が鍛えられる、**素晴らしいアイデア**です。今後もどのような創造的な運動企画が登場するのか、今から本当に楽しみです。

激変する時代を生き抜く「未来を拓く力」を

時代の変化は恐ろしい速さで加速しています。登場からわずか3年半の「ChatGPT」をはじめ、AIの進化は凄まじく、今や教職員の業務にも不可欠なツールです。米アンソロピック社の最新AI(クロード・ミュトス)が、人間の手では何年も見抜けなかったシステムの脆弱性を瞬時に発見するなど、その性能は想像を超えています。好む好まざるに関わらず、私たちの社会はもう、最先端テクノロジーなしには成り立ちません。だからこそ、**学校教育の果たす役割はますます重要**になります。子どもたちが生きる激変の未来を見据え、どれほど激しい変化の波が押し寄せようとも、周りに流されず、**自ら考え、判断し、力強く人生を切り拓いていける「未来を拓く力」**を、日々の教育活動を通してしっかりと培っていきたくと考えています。

